

令和6年度 すばりこども園

小山町立すばりこども園評価「自己評価書」

1 小山町立こども園 教育・保育目標

「金太郎のように心豊かでたくましい子」
 かんがえる子 やさしい子 げんきな子

2 重点目標及び具体的方策

重点目標「意欲をもって遊べる子の育成」

- ・乳幼児一人一人の思いに寄り添い、その子なりの特性や発達を捉え、自己発揮できる援助を工夫する。
- ・様々な直接体験や感情体験を通し、保育者や友達の話に興味・関心をもって自ら遊び出せるような保育を考える。
- ・家庭や地域（人や物）とのつながりを密にし、教育・保育効果を高めていく。

3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員アンケート結果	保護者アンケート結果
教育目標・園目標	A	今現在できることは、十分達成できていると思う。	B	A
教育課程・保育計画	A	保護者に園の思いが伝わっている面を考えると、十分達成できていると感じる。教育課程の共有も、コードモンにしたことでしやすい面があった。	B	A
保育指導	B	保護者アンケートの結果、『子どもが自分の思いを伝えられている』の項目がAとBで同じくらいの割合。子どもの様子、成長等をより細かく伝えていきたい。	B	A
研修	B	対外的な研修にも行かせていただいているが、アウトプットの面で足りていない。	B	/
特別支援教育	B	計画は細かく作成できているが、周囲との情報共有が不十分。	B	/
安全管理	B	保護者、職員ともアンケートではA評価になっているが、実際にけがをさせてしまうこともあり、まだまだ安全管理の面で不十分である。	A	A
保健管理・食事	A	アレルギーの園児に対して、職員同士で情報共有・連携を図り対応できている。	A	A
組織運営・情報管理	B	保護者も職員も個人情報の管理については十分配慮している。しかしコード	B	A

		モンの扱い方や苦情処理の仕方など全職員が把握しきれていないこともあり、組織運営の面で不十分である。		
保護者・地域との連携	B	園児を仲介にして、成長を分かち合うことについては、できていると感じるが、地域との連携等について保護者にまだまだ伝えきれていない部分が多く、理解が得られていない。	B	B
施設・設備	B	扉の建付けなど経年による劣化が見られる個所や安全管理の面から見直しをしたい箇所など改善の余地がある。	B	A

- (注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」
- 2 「職員アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
- 3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と回答したものを除いて集計したものである。
- 4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
保育指導	子どもの様子、成長等をより細かく伝えていくことで、園での様子を把握しやすくする。
組織運営・情報管理	コドモンの扱い方については、引き続き職員間で情報を共有したり、より良い方法を模索したりしていく。会計年度職員についても、パソコン等での入力方法などを、一緒に取り組みながら伝えていきたい。苦情処理などについても、組織として取り組む体制を作っていくいきたい。
保護者・地域との連携	コドモンで配信・連絡等をしているが、情報の見落としなどもあり、伝えきれないことがある。わかりやすい情報発信を考えていく必要がある。地域との連携は、行事だけでなく、散歩に出かけた際にあいさつをするなど交流を深めていき、保護者にもその様子を知らせていく。地域の方に、こども園の子ども達ということを認識して温かく見守っていただけるように、散歩時の服装や横断旗の所持など工夫していきたい。

5 評価全体を通して

総合評価	評 価 の 理 由
B	職員が様々なことを自分のこととして捉え、対応してきたことで、保護者から一定の評価をいただいたが、行き届かなかった面もあり課題が明確になった。園児の心身の成長について、わかりやすく保護者に発信していくことで、園に対しての理解をより一層深めていきたい。同時に、外部の研修での学びを園内で共有し、園内研修として定期的に研修を重ねていく機会をもち、保育の質の向上に努めていきたい。